

平成28年度 岐阜薬科大学

# 第33回 市民公開講座

## ～健康と食とくすり～



健康で長生きすることは万人の願いです。本講座では、病気を治すために最先端のくすりがどのように開発されているか、そして健康であるために日常の食の中でどんなことに気を付けた方が良いかについてお話しします。

日程(全5回)	テーマ	講師 (岐阜薬科大学教員)
10月 1日(土)	油で健康を保つために 知っていてほしい3つのこと	放射化学研究室 講師 立松憲次郎
10月 8日(土)	最先端のくすりのかたち	製剤学研究室 准教授 田原 耕平
10月15日(土)	老化から脳をまもる ～くすり・遺伝子・iPS細胞～	薬物治療学研究室 准教授 位田 雅俊
10月22日(土)	「テーラーメイド医療」とは？ 《人それぞれの体の特性に合った治療を目指して》	分子生物学的研究室 准教授 塩田 倫史
10月29日(土)	鉄の功罪 ～過ぎたるは及ばざるがごとし～	薬化学研究室 准教授 平山 祐

時 間：13:30～15:30

会 場：岐阜薬科大学 三田洞キャンパス 大講義室

定 員：100人(先着順)

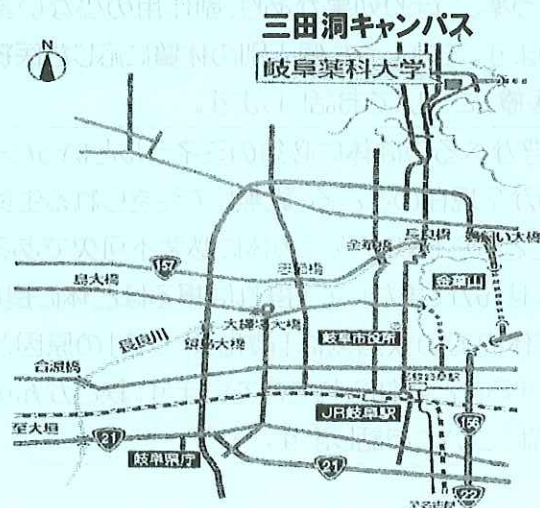
締 切：9月16日(金) 必着

受講料：全5回分で2,500円

(受講通知書と一緒に納付書を送付予定。欠席しても返金不可。)

### 申込方法

ハガキまたはFAXで、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、電話番号を記入して、下記へお申し込みください。



●生涯学習「長良川大学」リカレント講座です！  
「長良川大学」の単位が取得できます。  
「まなびすと手帳」をお持ちの方はご持参ください。

### 申し込み・問い合わせ先

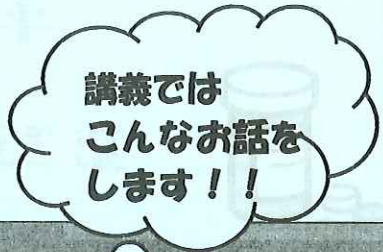
〒502-8585

岐阜市三田洞東 5-6-1

岐阜薬科大学 三田洞キャンパス 教務厚生課

TEL:058-237-3931 FAX:058-236-0004

主催/岐阜薬科大学



日程 (全5回)	テーマ・講師	内 容
10月1日 (土)	油で健康を保つために 知っていてほしい3つのこと  放射化学研究室 講 師 立松憲次郎	みなさん今日のお料理でどんな油を使いましたか？最近ではスーパーやドラッグストアで様々な種類の食用油が販売され、その中には機能性を強調するものも増えてきました。テレビや雑誌でも様々な油が良いもの、悪いものと取り上げられていますが、本当はどれを食べればよいのでしょうか？今回の講義では、食用油の基本的な性質を元に、食用油と正しく付き合うために知っておいてほしい3つのポイントを紹介いたします。
10月8日 (土)	最先端のくすりのかたち  製剤学研究室 准教授 田原 耕平	錠剤や注射剤などくすりにはいろいろな「かたち」があります。最近、薬を加工する製剤技術が発達し、苦味を抑えたくすりや、水なしで飲める錠剤、フィルム、ゼリー剤など飲みやすいくすりが次々と開発されています。さらに、くすりのかたち(剤形・製剤)には、くすりがよく効くように、また副作用がなくなるように最先端のテクノロジーが詰め込まれています。みんなが飲みやすい「ヒトに優しいくすり」をキーワードにお話します。
10月15日 (土)	老化から脳をまもる ～くすり・遺伝子・iPS細胞～  薬物治療学研究室 准教授 位田 雅俊	我が国は超高齢化社会を迎えました。脳の病気には、認知症やパーキンソン病などが知られています。現状では、なぜ発症するのかは分からないままですが、その原因には老化が深く関係します。本講義では、認知症やパーキンソン病を中心に、最近使用されている「くすり」のお話だけでなく、iPS細胞を用いた再生治療の可能性についてなどについてもわかりやすくお話をします。
10月22日 (土)	「テーラーメイド医療」とは？ 《人それぞれの体の特性に合った治療を目指して》  分子生物学的研究室 准教授 塩田 倫史	私たち個人の遺伝子型はそれぞれ異なり、そして個々の体質はそれぞれ個人差があります。遺伝子を調べることにより、個人の体質に合わせた薬や治療法の研究開発が進められています。例えば、同じ薬でも、効果がある人、効果がない人ということがわかるようになります。その人その人に合う薬、つまり効果があり、副作用の少ない薬を選択出来るようになります。このような個人別の体質に応じた医療を行う「テーラーメイド医療」についてお話します。
10月29日 (土)	鉄の功罪 ～過ぎたるは及ばざるがごとし～  薬化学研究室 准教授 平山 祐	「鉄分」と聞いて思い浮かべるのは体に必須のミネラルといったイメージではないでしょうか？現在のところ、鉄無しで生きられる生命体は地球上にはいないことから鉄が我々の体に必要不可欠であることは疑う余地もありませんが、果たして「摂れば摂るほど体に良い」ものでしょうか？実は体内での鉄過剰は「酸化ストレス」の原因となり、様々な疾患に関与することが知られてきています。鉄とがんの話を中心に最近の鉄研究についてお話します。